

## NHK 大河ドラマ特別展「どうする家康」

三井記念美術館(東京・日本橋三井本館) 23.04.15～06.11

岡崎市美術館 23.07.01～08.20 静岡市美術館 23.11.03～12.13

本展は、先の見えない戦乱の世において、リーダーとしてたくさんの「どうする？」を突き付けられ、逃げることなく答えを出し続け乱世を終わらせた「徳川家康」に焦点を当てた「NHK 大河ドラマ」の特別展覧会である。

「家康」(1543～1611)は、江戸幕府の初代将軍で「織田信長」と同盟を結んで勢力を拡大し、信長亡きあとはライバル「豊臣秀吉」に臣従しつつ、最後は豊臣政権の「五大老の筆頭」として強大な権力を掌握した。

「エピソード」では、“御神体”をテーマとした作品を展示し、神号と東照大権現蔵「家康」のご神体として神社の内陣に祀られた太刀、脇差、家康所用の甲冑金蛇美具足、さらに秀忠所用の甲冑を目のあたりにすることができる。

<展示作品> (期間中に展示替えあり)



### 《長久手合戦図屏風》 6曲1隻

1984年3月に始まった「織田信長・徳川家康連合軍」と「豊臣秀吉」との長期間の戦いは、11月になって両者が講和を結び集結した。

### 《長篠合戦図屏風》 6曲1隻

1575年の「織田信長・徳川家康連合軍」と「武田勝頼軍」とが三河設楽原で戦った合戦は、「信長」が鉄砲三千挺を三段に分け連射する戦術で、「武田」の騎馬隊を破った。



徳川義直(尾張家初代)筆・同賛



### 《東照大権現像》とうしょうだいごんげんぞう 江戸時代(17～18世紀)

神として威厳を備えた家康像「東照大権現像」が一般的であるなか、本図は父「義直」の目を通して描かれた人間味を感じさせる「東照大権現像」である。

様々なバリエーションがある「家康像」には、本図のように神像としての背景である御簾(みす)や御帳(みとぼり)などを持たない図もあり、浄土宗寺院の中で礼拝用画像として成立した可能性が考えられる。